

報道関係各位

2024年7月24日

ソリトンとACSL、ドローン映像の更なる活用を期して連携

株式会社ソリトンシステムズ(代表取締役社長: 鎌田理、以下「ソリトン」と)と株式会社ACSL(代表取締役CEO: 鷲谷聡之、以下「ACSL」と)は、ドローン映像の伝送・共有に関するサービスと製品の提供を強化するため連携を推進していきます。

今後、ソリトンとACSLは販売パートナー契約を締結し、ソリトンが開発する国産の映像伝送システム「Smart-telecaster™ Zao(スマートテレキャスター ザオー 以下「Zao」と)」とACSLの国産ドローンを組み合わせ、災害対応、防衛、警備といった公共安全分野での活用を共同で展開します。

また、7月24日から東京ビッグサイトで開催される国際ドローン展のACSLブースにおいてZaoとACSL製のドローンを用いたデモ展示を行います。

ソリトンが提供するZaoシリーズは、LTEや衛星などの複数の回線を束ねて使用するマルチリンクに対応しており電波状況が不安定な環境でも安定的な映像伝送が可能です。加えて独自のプロトコル「RASCOW」により超短遅延の伝送を実現しています。

このシステムはH.265コーデックを使用して高画質なリアルタイム映像を遠隔地へ伝送・共有することが可能で、多くの放送局や官公庁で採用された実績を持ちます。

モバイル回線を使った映像伝送はドローン分野においても活用が広がっています。

■ACSL がソリトン製品を販売

ACSL は、販売パートナー契約締結後、自社製ドローンの映像を遠隔地へ伝送・共有するために Zao シリーズの販売を開始します。ACSL が取り扱いを予定しているソリトン製品は以下です。

- Zao-X
- Zao ウェアラブル
- Zao SDK
- Zao Cloud サービス

ソリトンと ACSL は、公共安全分野におけるドローン映像の利活用を推進してまいります。

【 株式会社ソリトンシステムズについて 】

設立以来、ソリトンシステムズは IT・エレクトロニクス業界にあって、常に新しい技術トレンドを見据え、いくつもの「日本で初めて」を実現してきました。近年は、認証を中心とした IT セキュリティからサイバー対策まで、また、携帯電話回線 4G、5G や Wi-Fi を利用した高精細の映像伝送システム、遠隔運転、遠隔操作などに取り組んでいます。国産メーカーとして、オリジナルの「もの創り」、「独創」にこだわった製品とサービスを提供しています。

設立：1979 年、売上 190 億円(2023 年 12 月期・連結)、東証プライム

HP：<https://www.soliton.co.jp/>

【 このリリースに関するお問い合わせ先 】

株式会社ソリトンシステムズ 映像コミュニケーション事業部

Tel: 03-5360-3860 stc-sales@list.soliton.co.jp

【 このリリースに関するマスコミからのお問い合わせ先 】

株式会社ソリトンシステムズ 広報

Tel: 03-5360-3814 press@soliton.co.jp